

みんなで子育て No.5

学び多き家庭教育学級です

本巣市立糸貫東幼児園 子育て講演会 7月5日(月)

学校行事参加型
+講演会型

親業訓練シニアインストラクター松尾千景氏のお話をぜひ保護者に聴いてほしいとの願いのもとに、保育参観、講演会、学級懇談会、給食参観といったいくつかの活動を兼ねた日程で参加者を増やそうとされました。子育てを考える場として、これまでも講演会を実施されています。



園入口の七夕飾

●未満児学級 保護者 30名 10時~10時30分



★主な内容

- ・子どもは、ぐずったり、いう事を聞かない時があります。そんな時叩いて言う事をきかせるということを一度でもしてしまうと、次もそうしてしまいます。体罰を受けた子は、脳が委縮したり、カッとなりやすかったりする傾向があります。
- ・子どもの人権を守るには、親も子ども NO：イヤって言うていいんだよ GO：その環境から逃げていいんだよ。 TELL：誰かに助けて！相談していいんだよ。
- ・いい子を求めることが良いとは限らない。外的圧力に対して内的抑圧を避けたり、吐きだしたりできるのは健康な証拠です。イヤな感情を出せるのは、信じてくれる

人がいるからです。すると次はどうしたらよいかと考えるようになります。

- ・資料にある「12の親のお決まりの言葉」は子どもが考える力を奪ってしまいます。
- ・子どもの気持ちにそって耳を傾ける、能動的な聴き方をする。白いボールが来たら白いボールで返します。あいづち・くりかえし・言い換える・気持ちを言葉にする。といった対応に心がけましょう。
- ・考えて解決するのは子ども。子どもが選択できるように例えば「おにぎり・パンどちらにする。」と聞いてみるようにしましょう。

●年少児学級 保護者 34名(父親4名) 10時30分から11時

★未満児の内容に加え、次のような内容も含めて話されています。

- ・CAP (Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止))について
- ・体罰は虐待
- ・全国の児童相談所の児童虐待相談の対応件数
平成25年 73,765件→令和元年 193,712件 増加傾向
原因の一つ：孤立した子育て→困ったと言える、人を頼れる環境にない。
- ・「夫婦喧嘩を見せてはいけない」(暴力的なものは面前DV)でもけんかはある。(感情を押し殺してはいけない)
↓
けんかした後の仲直りするところを見せたい。
- ・大人同士が子どもの事を褒める。大人同士が褒め合うのを見せる。言葉で伝える見本を親が見せる。
- ・絵本「2色の気持ち」の読み聞かせ
- ・子どもへの言葉の伝え方



絵本「2色の気持ち」

コメント

保護者が子どもに寄り添って、話を聞き、気持ちをくみ取ることで、子どもは親を信頼し、自分で考えるようになります。その方法を示されました。特に年少児さんでのお話は、絵本の読み聞かせや子どもへ言葉で伝える(Iメッセージ)がより具体的に、年齢に合わせたお話が印象的でした。

親が孤立したり、我慢することを避けるため、苦しさを言ったり、助けを求めることが大事であると話されました。子どもの人権を大事にしたいという願いが感じられます。親業は親の望む姿を明確に示しながら、子どもの安全安心を守る内容でした。父親を含めた多くの参加があり、講師の選定・行事の工夫が効果的だと感じました。



講師 校長 奥村 篤 先生



例年は給食試食会を実施していましたが、PTA 総会もできない状況であり、学校と保護者、保護者同士の交流が減っている。校長先生の話の聞いたり、保護者同士で話す機会を設けたりし、少しでも交流の場をつくりたいとの願いから、十分な感染対策のもと開催されました。(マスク着用、消毒、広い部屋、換気等)



●講演内容

1 「グーを出してください」3種類のグーがある。それぞれに人の性格の傾向があるとされている。

2 価値観は時代とともに変化する。サザエさんの一家、波平さんは何歳？作品では54歳。作品の時代は1950年代、今から70年ほど前で、当時の平均寿命は60歳くらい。現在は20年ほど伸びている。多くの人は、波平さんの見た目は70歳以上と答える。時代とともに価値観は変わっていく。

3 職業 野村総合研究所が発表したAIにより、消えていくと予想される仕事は・
 ・残るのは、アートディレクター・アナウンサー・教員等 消えるのは一般事務員・受付・運転手等
 ・平成の時代に消えた職業 タイピスト・エレベーターガール・切符切り等
 ・新たな仕事 ユーチューバー 億単位の収入もある。

価値観は変わる。この1年でも世の中は大きく変わった。

4 学校で大事にしたいこと

- ・子どもを育てるという視点…自分で考える・判断する・行動する
→自律力
- ・人のせいにしない。まず親が人のせいにしない。
- ・育てたい4つの力(学校HP「学校の経営構想」：目指す生徒像)
- ・これからの時代は答えのない問いへの対応、答えが一つではない時代になる。



- ・学校ではSS活動(Student Student：生徒同士で考えや表現を交流し、学びを深めていく学習活動)を大切にしている。
- 発想力：いかに子どもの無限の発想を引き出せるか。
- ・テストの解答用紙を持って帰ってきたとき、×だった答えに対してどのように声を掛けますか？
→珍回答から学ぶ子どもの発想の豊かさ
- ・大学の入試が変わってきている。正解がない問題、能力を見る。今後は能力が重要視される。
- ・校長先生についていろいろ質問：年齢は？お父さんは？休日は何を？家のルール等

●座談会

- 普段困っていること・気になっていることを話題として出し合い、交流しました。
- 例「学習の習慣づけができていない。この時期どのように声を掛けたいのか。」
- ・宿題が終わらないとゲームができない約束にしています。
 - ・好きなことはさせる。やるように任せる。気になるけど任せています。
 - ・小学校で宿題ができない時期があり、確認するようになっている。
 - ・小学校ではできていたけど、中学校でできなくなった。任せているけど本腰が入らない。 等

●感想

- ・校長先生の人柄を感じられました。・学校としての教育の考えを知ることができて良かった。
- ・楽しく話を進めて、飽きる事なく時間が過ぎてよかったです。自分で考える、判断して行動する、人のせいにしない、が心に残りました。
- ・少ない人数の参加の中でも、人それぞれの悩みがあり、話も聞けてよかったです。子どもに寄り添えるように考えるきっかけとなりました。
- ・それぞれみなさんが思う事を聞く時間を作って頂けてありがたかったです。

●コメント

興味を引く話題や問題、珍回答の紹介から、子どもの発想の柔らかさ、その発想を認めていく事の楽しさが伝わってきます。まじめに考える、勉強するという事が大事に思えますが、将来残る仕事を考えると、幅広い発想ができることや、人との関わりが重要であることが分かります。学校の学習でSS活動といった生徒同士の学びの場があり、教える事、人から学ぶことができる機会を大事にされていることも分かります。

保護者からの質問に優しく答えられる様子や、ご自身の家族についてお話される様子から、何でも話してよいという雰囲気が伝わりました。



瑞穂市立中保育・教育センター 子どもとの関わりの大切さ 7月16日(金) 講演会型

瑞穂市では各幼稚園・保育所などで、西小学校の主幹教諭大野先生のお話を聞く家庭教育学級が、年間に位置付けられています。大野先生は特別支援教育が専門です。小学校に入るまでにしておきたいこと、子育てで大事にしたいこと、困ったことを事前にアンケートが行われ、講師からは5つの質問として資料にまとめて話をされました。



★年長・年中児の保護者対象 (講演の様子の一部)

1 就学までに身に付けさせるとよい力は何ですか。

【年長まで】

- ・あいさつや返事ができ、「ありがとう。」「ごめんなさい。」の言葉が言える。
- ・自分でできる事が嬉しいと思える。自分で考え、解決できることを喜ぶ。
- ・寝る時間と起きる時間をしっかり決めて生活する。
- ・話をしっかりと聞く、分からないときは分からないことを伝える。
- ・保育所であったことを話ができるようにする。

※「あいさつのプレゼント」という高学年作文
→「おはよう」と言える子は素敵！ほめてあげよう！
(当たり前と思わないで)

【年長】

- ・何か取り組むときは集中し、終わる時には気持ちが切り替えられる。
- ・お手伝いができる。
- ・文字に親しんだり、数に親しんだりする。
- ・体力をつける。(※登山が効果的)

※絵本「へんしんトンネル」の読み聞かせで楽しさを紹介。絵本は宝の山です。

気づくこと・わかること・できることが生きることの価値だと理解させていく

作文や絵本・新聞記事・PTA 新聞等の事例を紹介されてわかりやすく説明されています。最後に大切なことは、と題して5つの内容が紹介されています。



お話に集中です

●参加された方の感想

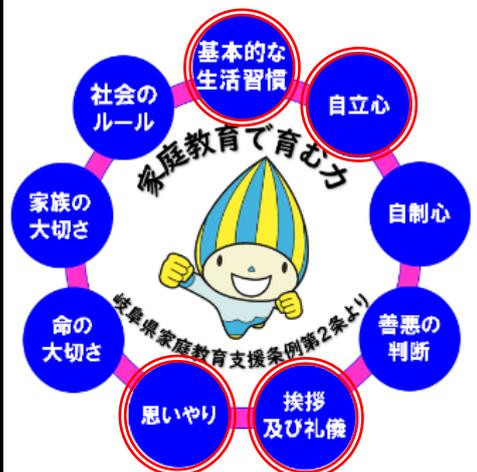
- ・就学に向けてあいさつや子どもとの接し方などお話が聞けてよかった。
- ・普段なかなか忙しくゆっくり子どもの話を聞けなかったり、なにかをしながらの対応だったりすることが多かったのですが、これからは少しでも2人きりでしっかり向き合う時間を作っていきたいと思いました。
- ・子どもに身に付けさせたい力を分かりやすく示してくださり、日々の成長の中で、活かしたいことばかりでした。

●コメント

今困っていることをどう見て接すればよいのかといったニーズに合わせてのお話でした。取材して驚いたのは、参加者のメモを取る姿です。配付された資料とは別にノートにびっしりと書かれる人もいて、聞き洩らさないようにとの姿勢が素晴らしいです。

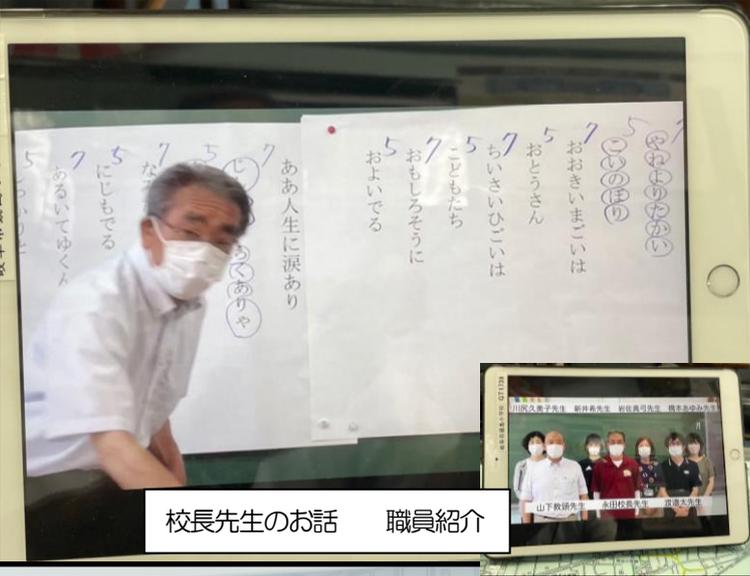
さらに前日には年少さんや未満児の保護者へのお話もあり、どちらも参加された方が「とてもよかった。2日間も聞けてうれしかった。」と言われるほどです。

性格特性に応じた対応のお話で、慎重な子には無理強いないとか、失敗しながら子どもは学んでいくので、かわいそうだからと手を貸すことが良いのかを考える、親の姿勢についてのお話も「なるほど」と感じ、子どもの側に寄り添っての対応や見方のお話に納得でした。学び多い学級になりました。



成人教育委員長さんにお聞きすると、昨年コロナ禍で学校に集まることがなく、PTAの会合もありませんでした。また、校長先生は昨年転任されて、保護者と顔を合わせる機会が少なく、卒業式で6年生の保護者から、卒業式で初めて校長先生の顔を見たことのお話を聞いて寂しいことだと感じました。そこで年度当初、例年校長先生のお話を聞くという事をしていたのでオンラインで実践できないかと考えられました。

学校で配付されたタブレットで、委員長さんが校長先生のお話を撮影され、その動画を「アイムービー」で編集し、これを学校に依頼して、teamsで全タブレットに配信し、6月18日～一週間視聴できるようにされました。この案内と一緒にアンケート(紙媒体)を配付しており、親子で視聴後アンケートに答えています。



校長先生のお話 職員紹介

★永田千尋校長先生のお話とその内容

「童謡を歌って、親子の愛を深めよう」

童謡「どんぐりころころ」、演歌「ああ人生に涙あり(水戸黄門テーマ曲)」の2つの曲の対比から、七五調のリズムが共通でどちらも同じリズムで歌える。耳に心地よいリズムになるといった興味がわくお話から始まります。

その後、童謡「シャボン玉」には野口雨情氏が子どもを亡くした悲しみを歌に込めていることを知ると歌う時にジーンとくる。といった例からいくつかの曲を紹介しながら曲ができた背景や歌詞の意味を考えていくと、親が子を思う様子が見えてくるというお話でした。

アンケート集計より

回答:子(168人)母(128人)父(36人)祖母(3人)

★感想より

- ・校長先生のお話の仕方がとてもわかりやすく、子供でも楽しく聞けるものでしたし、先生のあたたかいお人柄がうかがえる講話だと思いました。
- ・「しゃぼん玉」にこんな悲しい意味が込められていたとは思っていませんでしたので、知って胸がキュンとなり、子供も「涙でそう…」と感極まっていました。
- ・画面越しではありますが、校長先生をはじめ、先生方の顔を見て話す事で、学校と家庭の距離が近くなるような面白い取り組みだと思います。

コメント

学校と家庭を結ぶには、今ある機器でこんなに素晴らしい方法があるとはびっくりです。これを考え撮影、編集まで実施された委員長さんと学校、また、小学1年生から大人まで聞けるお話を工夫された校長先生、それぞれの方の熱意に脱帽です。

アンケートからも、内容や職員紹介が良かったことが伺え、わかりやすくニーズがあることが分かります。

家庭教育学級の方法として、期間内ならいつでも見られるという点でも新しい方法だと感じます。ありがとうございました。

2021年6月14日

保護者様

岐阜市立鏡島小学校 PTA会長 成人教育委員長

案内

～第1回 家庭教育学級～

親子で聞こう 校長先生のお話

吹く風に、緑の香りが漂う初夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件について下記のとおり開催致します。例年、学校内で開催していた校長先生の講話ですが、コロナ禍により検討を重ね、今年度はタブレットを用いて親子で見守る形式にしてみました。保護者様が学校へ足を運ぶ事が出来ない状況の中、善哉子ども達を見守る校長先生のお話を見て聞いて、学校の事・親子の事等、お子様と話さうきかけにできればと思います。尚、動画視聴後に用紙裏面にアンケートがございますのでご協力お願いします。

記

1. 配信期間 2021年6月18日(金)～25日(金)

2. テーマ ～童謡を歌って、親子の愛を深めよう～
講師 鏡島小学校 校長 永田 千尋 先生

2021年7月19日

保護者様

アンケート集計の報告

第1回家庭教育学級
「親子で聞こう、校長先生のお話」のご報告について

梅雨が明け、蒸し暑い日々が続いております。皆様方には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

先日実施いたしました「親子で聞こう、校長先生のお話」をたくさんの方にご視聴頂き、誠にありがとうございました。

未だコロナの影響で様々な制約があり、学校に関わる機会が減っている中、保護者様には少しでも先生方の人柄や雰囲気を親子で感じてもらえたのであれば、取り組んだ委員会としては嬉しい限りです。

今回はアンケートの集計結果と保護者様から頂いたご意見を一部抜粋してご報告させていただきます。

○アンケートの提出件数(全416世帯へ配布)
130件提出され、提出率は約30%となりました。
視聴はしただけアンケートは未提出という事もあり、正確な視聴件数が把握できなかったのは残念でしたが、沢山のご意見を頂いたのは今後の参考にもなり大変ありがたく感じました。

○視聴された方の内訳(複数回答)
子(168人)
母(128人) 父(36人) 祖母(3人)
お母さんだけではなく、ご家族とも視聴してくださった事は、今回の取り組みが家族とのコミュニケーションに開かれたと感じ嬉しく思いました。



本巣市 しんせい ほんの森 「おはなしムクムク」

7月15日(木)10:30~11:00 体験活動参加型・子育てサロン型

「しんせい ほんの森」では、毎月未就園児対象におはなしや工作などを行う「おはなしムクムク」と、毎週日曜日の午後に小学生以下の子どもを対象に行う「おはなしひろば」、子どもから大人まで楽しめる「えいごのおはなし会」を行っています。今回は平日に行われている「おはなしムクムク」取材しました。

換気を行い密を避けて、少人数で実施です。お話はボランティアの方々が実施されています。参加したのは8カ月と6カ月の赤ちゃんとそのお母さんです。



しんせい ほんの森



あ のほん



手遊びで楽しい!かわいね!

★実施内容は

○最初は手遊び:ウサギさんを子どものモデルにして、ひとりずつ子どもの名前を呼びかけ「だっこしてキュー」でリラックス。

○絵本の読み聞かせ

- ・「どすこーい」:クマさんも出てきてかわいい絵です。
- ・「あ のほん」:「アー」という声にまつわる言葉が出てきます。
- ・「わんわん わんわん」:いろんな動物の鳴き声で楽しいです。
- ・「みんなでねんね」:寝る前に読むといいかな
- ・「よいしょよいしょ」:本が伸びていきますおもしろい!

○手遊び:ぱんぱんパン屋さん

最後にカードにシールを貼りましょう。自分で選べます。

◎参加された方の感想

- ・市のチラシを見て来てみようと思いました。楽しかったです。自分では絵本を読むことがあまりないのでうれしかったです。子ども楽しそうでよかった。
- ・一杯本を読んでもらえた。また子どもと一緒に来てみたい。

★「おはなしムクムク」では、絵本の読み聞かせや季節によって工作や折り紙などを行っています。折り紙でかぶとやかえる等、工作は「羽ばたくトリを作ろう」「リングリングぐらいだー」等が実施され、多い日は10組20人以上の日もありました。今は感染防止により来場者が減っていますが、今年も11月に工作教室を計画されています。



よいしょよいしょ



本巣市のたな:数学のまち・かきや真桑うり・文楽などの本のコーナーもあります。

コメント

集まった方同士でいろんなコミュニケーションが出来そうです。楽しい遊びを一緒に楽しんだり、絵本を読んでもらえたりと楽しい時間が過ごせます。換気がしやすい部屋ですので、参加者が増え、絵本を通してのつながりができそうですね。

「おはなしムクムク」はボランティアの方々の協力でできています。本巣市では図書館だけでなく、幼稚園・小学校・子どもセンターなどに「読み聞かせサポーター」の活動を進めています。子どものころからの環境で読書好きになりそうですね。

